

COVID-19 パンデミックは容易には終息そうにないが、かつてコレラの大流行が「公衆衛生の母」と呼ばれたように、医学の新たな発展を期待することはできる。今回の不安感増大では情報の氾濫による心理的パニックも要因として挙げられた。個人が健康のリテラシーを高める努力も求められている。

さて今月の特集は「ICF と作業療法」である。「障害に関する世界報告書(2011)」では編纂の概念的枠組みとしてICFを採用し、ICFについて環境因子への新たな強調として紹介している。ICIDH は障害の分類を目指した最初の国際的取り組みであり、あらためて障害とは何かが問われることとなったが、わが国では関心がもともと乏しかったかもしれない。ICF の刊行に合わせて国際的

には障害の定義と計測法が議論されてきたが、環境についても環境計測の作業チームが国連関連の有志団体のようにして立ち上げられた。

環境の本質は多面的であり、参加の促進因子として、あるいは阻害因子として識別することの重要性が強調され、環境の計測についても今後の課題として興味深いものである。

日常生活における活動と参加の実現と促進では、作業療法に期待される。本特集ではICFの枠組みで理解し、計画すること、実行すること、結果を評価することでの有用性が解説され、OTの実践で活かされることであろう。なお、世界の環境では作業療法にアクセスできない国も稀でない。また、活動と参加では福祉用具の活用が役立つが、その関連で身体障害者補助犬、特に介助犬を中心に現状が紹介されている。補助犬を役立てる主体は人であり、補助犬の育成事業者は、利用者のニーズについてOTをはじめリハビリテーション専門職の助言に期待しているはずであり、今後の課題でもあらう。

(江藤文夫)

編集後記

編集顧問

上田 敏 鈴木 明子 寺山久美子

編集委員

江藤 文夫 香山 明美 澤 俊二 竹内さをり
長野 敏宏 中村 春基 西出 康晴 山本 伸一

編集同人

朝田 隆	石川 隆志	石原 茂和	伊藤 利之
宇田 薫	内山 量史	沖田 啓子	片岡 聡子
鴨下 賢一	川本愛一郎	岸本 光夫	窪田 静
相良 二郎	櫻井 卓郎	澤田 辰徳	柴田八衣子
島崎 寛将	関本 充史	高島 千敬	竹中佐江子
田中 栄一	田平 隆行	鶴見 隆彦	豊田 章宏
芳賀 信彦	白鳥 智子	二神 雅一	堀田 聰子
松田 雅弘	松本 琢磨	松元 義彦	三浦 晃
宮崎 宏興	宮本 礼子	村井 千賀	村上 重紀
山根 寛	吉川ひろみ	和田 直樹	渡辺 誠

(五十音順)

作業療法ジャーナル VOL.54 NO.11 (Oct.)

2020年10月15日発行(毎月1回15日発行)

定価(本体2,000円+税)

年ごめ予約購読料 28,000円+税(送料弊社負担、増刊号含む)

発行 株式会社 三輪書店

代表者 青山 智

〒113-0033 東京都文京区本郷 6-17-9 本郷網ビル

代表 ☎ 03-3816-7796 FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>

郵便振替 00180-0-255208

(担当: 高野, 森山)

Email otj@miwapubl.com

印刷所 三報社印刷(株) ☎ 03-3637-0005

広告申込所 (株)文京メディカル ☎ 03-3817-8036

本誌の内容の無断複写・複製・転載は、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.

6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, © 2020, Printed in Japan

JCOPY (出版者著作権管理機構 委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。